



東大阪市の スポーツを活用したまちづくり

～スポーツの良さを どうまちづくりに活かすか

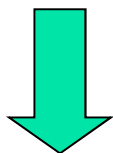
東大阪市議会議員

中西進泰



スポーツのもつ力

- 勝つことを目的とした競技スポーツ
体力・生きる力
- 自分のペースで楽しむ生涯スポーツ
健康・仲間づくり・地域コミュニティ
- 見て楽しむ・支えるスポーツ(プロスポーツなど)
一体感・連帯感・帰属意識・経済的な効果



スポーツのもつ力をまちの活性化につなげる



スポーツの要素

- 多面的な良さをもっている
- 学校教育や社会教育の場におけるスポーツ

スポーツの本籍地は、教育委員会



まちづくりに生かすためには、高いハードル
公平性・平等性



大きな契機となった法律改正

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正

21条(スポーツは教育委員会の職務権限)

23条(職務権限の特例)平成19年(2007)7月改正

スポーツに関することを、市長部局に持ってくることができるようになった(学校体育を除く)



スポーツの教育的側面に、都市経営的視点を取り入れる



全国での自治体の取り組み例

テーマ: スポーツを通じたまちづくり

(中核都市サミット2009in松山)

- 宇都宮市・相模原市・長野市・倉敷市・
高松市・松山市・大分市の報告



市長部局にスポーツ振興のための局・課の
設置



東大阪での取り組み ～エヴェッサでまちおこし

- 民間のチームの興行
- 利用料金
 - 有料加算・休日加算・他市加算
- 仮設スタンドの設置
- 東大阪市後援名義の取得の工夫
- 費用が2日間で約300万円
- 収入の限界(2日間で約200万円)
- 1興行で100万円近い赤字が出る



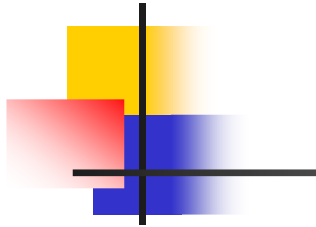
東大阪アリーナでの実施①

- 平成21年(2009)12月26日・27日
商店街の活性化の名目で経済部の後援
布施戎神社との連携

高松ファイブアローズとの対戦

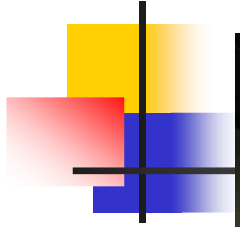
開場前の風景(アリーナ)



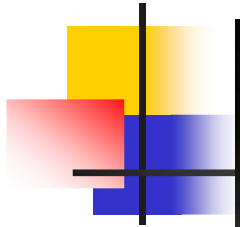


普段の東大阪アリーナ

オープニング1(ミニバスのゲーム)



オープニング(ごあいさつ)



オープニング(福娘とまいどくん)



試合風景1



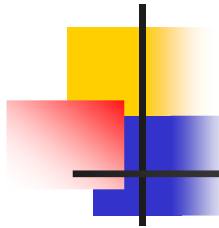
試合風景2



アトラクション1(エヴェサバンド)



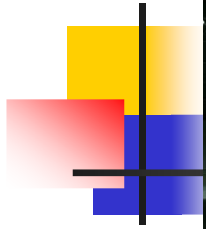
アトラクション2(ダンスチーム)



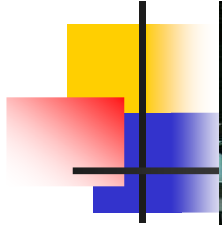
アトラクション3(ダンスチーム)



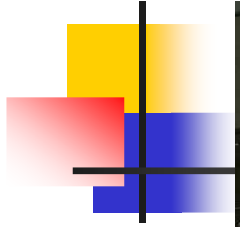
会場の様子1



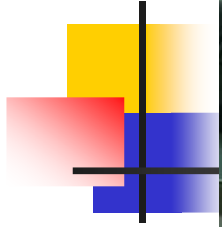
会場の様子2



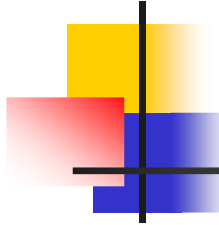
会場の様子3



会場の様子4



会場の様子5





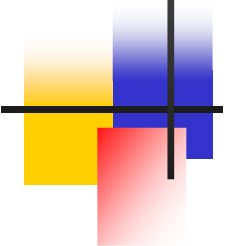
東大阪アリーナでの実施②

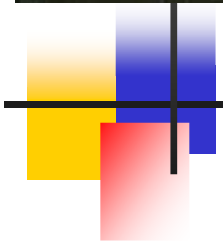
- 平成22年(2010)4月10日・11日
青少年健全育成の名目で教育委員会の後援
東大阪市ミニバス協会との連携

滋賀レイクスターズとの対戦



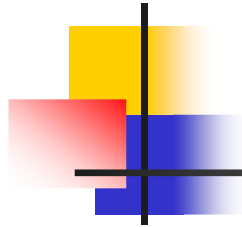












東大阪アリーナでの実施③

- 平成22年(2010)10月16日・17日

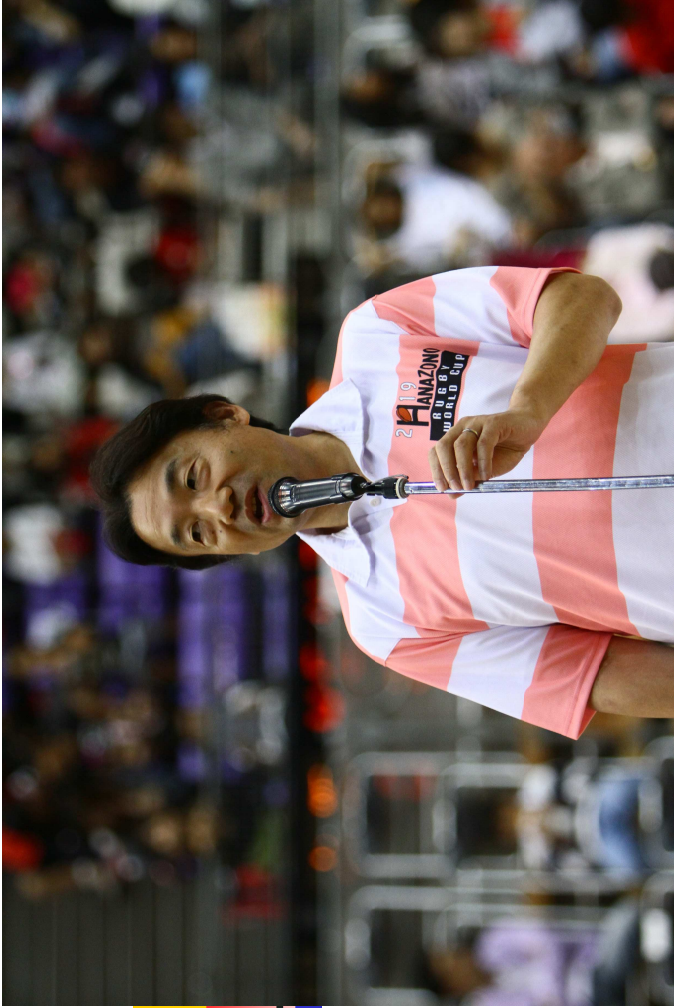
ミニバス協会・経済部との連携で、教育委員会・経済部の後援名義

宮崎シャイニングサンズとの対戦

- 牛・豚の口蹄疫問題で経済的な打撃を受けていた宮崎県の経済復興支援

かかってこんかい宮崎！ 実行委員会の立ち上げと売上金の一部を宮崎県に寄付

八戸ノ里公園一帯を使ったイベント実施

















東大阪での取り組み

～エヴェッサのホームタウン化の失敗

- プロチームを優遇する制度的な保障がない
- 持続可能な仕組み（利益が出る構造）になりえなかった
- エヴェッサのホームタウンは大阪市に
舞洲／住吉スポーツセンター



大きな契機となった法律改正

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正

21条(スポーツは教育委員会の職務権限)

23条(職務権限の特例)平成19年7月改正

スポーツに関することを、市長部局に持ってくるができるようになった(学校体育を除く)



スポーツの教育的側面に、都市経営的視点を取り入れる



ラグビーWカップと 花園ラグビー場への誘致

- 平成22年(2010)4月
市長部局にラグビーWカップ誘致室の設置
- 平成27年(2015)3月2日花園開催の決定
- 平成27年4月ラグビーWカップ推進室に名称変更

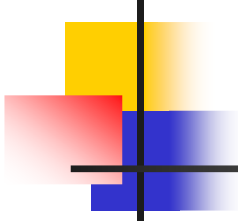
Wカップ終了後、役割を終えた後は「スポーツ振興室」を設置してはどうか・・・

平成28年12月議会での本会議質問と市長答弁



スポーツのまちづくり戦略室の設置

- 平成29年(2017)4月
Wカップ終了前に、設置
ネーミングを含めて、素晴らしい！！
- スポーツのまちづくり戦略室の仕事は・・・
スポーツ推進計画の策定
ワールドマスタースズ2021の所管
ウィルチェアスポーツの所管



Wカップの予想を上回る大成功 スポーツのまちづくりへの追い風

- JAPANの大活躍

史上初のベスト8／その戦いぶりに称賛の声

- ハード面での整備

ラグビー場の改修／公園の整備／道路の整備

- ソフト面への影響

スポーツに対する意識の高まり

ラグビーへのいい効果／サッカーへの好循環

ミートアップ事業など、諸外国との良好な関係の構築



組織の改編 ～令和2年4月から

- 都市魅力産業スポーツ部の創設

- ☆産業総務課

- ★モノづくり支援室

- ☆商業課

- ★労働雇用政策室

- ☆農政課

- ★国際観光室

- ★スポーツのまち推進室



スポーツのまち推進室の創設

■ スポーツのまち推進室

☆ スポーツビジネス戦略課

スポーツのまちづくり戦略室の名称変更

☆ 市民スポーツ支援課

社会教育部青少年スポーツ室のスポーツ部門を編入

☆ 花園ラグビー場活性化推進課

Wカップ残務処理終了後、課組織に再編

☆ 花園ラグビー場



これからの東大阪の
スポーツのまちづくりは・・・

うまくいくのか
さて、どうなるでしょ
う・・・？！